

JET 活躍の現場から

● CIR を通じて広がる国際交流 —— 福井県大野市

フランスとの交流に向け CIR を招致

福井県東部に位置する大野市は、市街地のいたるところに「清水（しうず）」と呼ばれる湧水地が点在し、市内の約7割の世帯が家庭用ポンプで地下水を汲み上げ、そのまま飲み水などの生活用水として使用するなど、恵まれた環境を持つ名水のまちです。

大野市では、地域資源である「水」を通じて、海外への支援・交流事業を展開しています。

中でも、水環境を守るために施策などで先進国であるフランスと連携した取り組みを実施するため、その橋渡しを担う人材を必要としており、2017年7月に初めてフランス人CIR（国際交流員）を1名任用いたしました。

CIRの主な業務は、フランス交流関係の担当として、関係省庁との連絡や交渉を担うほか、観光資料の作成や、情報発信に従事しています。

特に、CIRが制作する情報発信関係の資料は、外からの視点で観光名所を表現するなど、新しい切り口で大野市の魅力を伝えています。

フランス広域行政組織と覚書の締結

在日フランス大使館を通じて、水の取り組みに関わりの深いフランス関係省庁や自治体を紹介していただき、2017年11月に現地を訪問し、当市の取り組みについてプレゼンテーションを行いました。

中でも、フランスの広域行政組織「エロー地中海都市圏共同体」はわれわれの取り組みに深く共感し、2018年3月には、両者間で世界の水問題について連携した取り組みを実施するため「水分野での協力に関する覚書」を締結いたしました。

このような結果を得ることができたのは、CIRを通じてフランスの関係省庁との連絡を効率的に行い、意見調整を円滑に行ったことが大きな要因と考えており、今後のフランスとの交流の拡大に向けて、CIRの活躍に一層の期待をしているところです。



2017年11月フランスの自治体を訪問し大野市の取り組みについてプレゼンテーションを実施



フランス自治体の市長へ通訳をするCIR（左）



2018年3月 覚書を締結するため大野市を訪問したエロー地中海都市圏共同体の代表（左）と岡田前市長（中）との通訳をするCIR（右）